

ベトナム高等教育における外部質保証と 内部質保証に関する考察 ～ASEAN地域における高等教育質保証システムから 得られる示唆～

林 透

山口大学教育・学生支援機構
教学マネジメント室准教授

[キーワード]ベトナム高等教育、外部質保証、内部質保証、Qualifications Framework、学習成果

はじめに

1. 趣旨・目的

ASEAN地域では、国別の高等教育を対象とする第三者評価システムがアウトカム評価重視の方向で整備されつつある。併せて、ASEAN地域内での学生移動に伴う学位・単位の互換性の確保に向け、各国の質保証を担保する横断的取組が進んでいる。具体的には、ASEAN質保証枠組(ASEAN Quality Assurance Framework, AQAF)やASEAN資格参照枠組(ASEAN Qualifications Reference Framework, AQR)といった同地域における高等教育質保証システム整備と具体的な運用である。

本稿では、2018年9月に実施したベトナム政府機関・アクレディテーション機関・高等教育機関等を対象とした調査を踏まえながら、ASEAN地域における高等教育質保証システムを参照して進展するベトナム高等教育における外部質保証と内部質保証の現状と課題について考察するとともに、日本への示唆を明らかにする。

今回の訪問調査における具体的な目的として、ASEANで地域横断的な高等教育質保証システムが形成されようとしている状況下で、「(1)ベトナムではどのような高等教育質保証システムが構築・運用され、(2)ASEAN横断的な質保証システムに如何にしてコ

ミットしているのか、(3)ベトナムの高等教育質保証機関が展開するアクレディテーションに対して個別大学はどのような対応しているのか」という諸点を掲げた。なお、調査研究対象とした関係機関は以下のとおりである。

政府機関：The Ministry of Education and Training (MOET) ⁽¹⁾

アクレディテーション機関：

①Centre for Education Accreditation (CEA-AVU &C) ⁽²⁾

②VNU-Centre for Education Accreditation (VNU-CEA) ⁽³⁾

高等教育機関：

①Hanoi University of Science and Technology ⁽⁴⁾

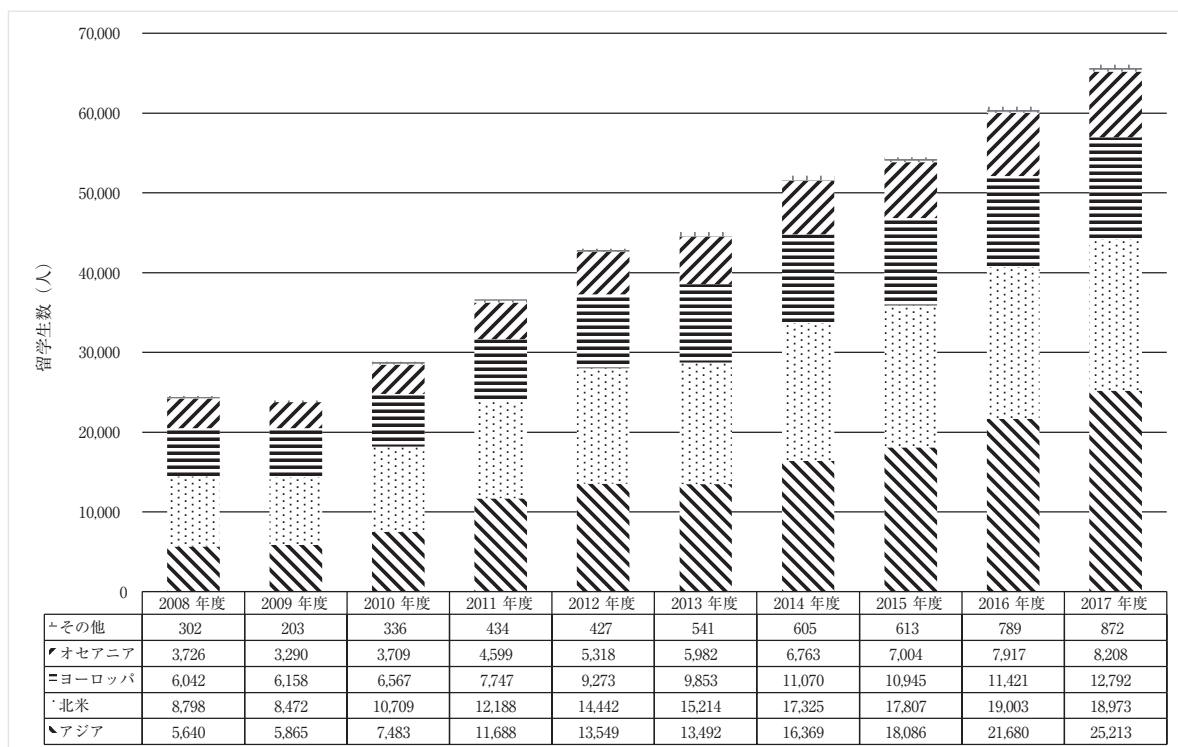
②VNU University of Engineering and Technology (VNU-UET) ⁽⁵⁾

研究機関：VNU Institute for Education Quality Assurance (INFEQA) ⁽⁶⁾

2. 背景・前提

日本の高等教育を取り巻くグローバル環境は時々刻々と変わってきているが、その一つとして、日本人学生の留学状況の変化が挙げられよう。短期を含む留学先は、図1のとおり、欧米諸国からアジア諸国にシフトしている。日本の高等教育機関の相互交流のパートナーとして、日中韓キャンパスアジアに加え、ASEAN諸国の存在がクローズアップされていると、いって過言ではない。このような学生移動をはじめと

図1 協定等に基づく日本人学生留学状況の推移



(日本学生支援機構(2010～2019)に基づき筆者が作成)

した大学間連携の信頼性を確保・維持する仕組みとして、各国の質保証システムの相互理解と交流が挙げられる。

日本から見たアジア圏ネットワークは、2000年代前半に活発であった日中韓(キャンパスアジア)からASEAN+3に重心が移行し、ASEAN+3による大学ネットワーク(ASEAN+3 UNet)では、京都大学、東京工業大学、早稲田大学、慶応大学、SixERS(旧六大学グループ(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、熊本大学、長崎大学))が積極的な活動を行い、2020年にはAUN+3学長会議が金沢大学主催で開催されることが決まっている。

本稿では、ASEANネットワーク及び各国独自の質保証システムの調査研究プロジェクトの一環として、ベトナムを対象とするものである。ベトナム高等教育の質保証については、早田(2017)がASEAN諸国質保

証システムに関する比較表(表1参照)を整理する中でベトナムの質保証システムの概要を列挙しているほか、大学改革支援・学位授与機構(2017)がベトナム高等教育の質保証に関するブリーフィング資料を公表している程度に留まっている。特に、早田(2017)がまとめた表1において、ベトナムの資格枠組が「(策定中)」と記載されているが、今回の訪問調査を通して入手した、2016年10月策定「ベトナム資格枠組(Vietnamese Qualifications Framework, VQF)」に関する考察(次章参照)を通して、同表自体をアップデートする必要がある。

また、ベトナム高等教育研究については、日本の比較教育学者によって幾つかの研究結果(近田(2005)、関口(2019))が見られるが、いずれもベトナム国家体制の歴史的推移を踏まえた高等教育制度の構造変化に関する研究に終始しており、ベトナム高等教育の質保

表1 ASEAN諸国質保証システム比較表(早田2017:72)

	ブルネイ	カンボジア	インドネシア	ラオス	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム
代表的質保証機関	BDNAC	ACC	BAN-PT	CEQA	MQA	CHED, NNQAA, FAAP	HEQA, CPE	ONESQA	GDETA
設置形態(設立年)	政府機関(1990)	独立機関(2003)	独立機関(1994)	政府機関(2008)	独立機関(2007)	CHED(1994)は政府機関、NNQAA(1977)、FAAP(1957)は国が認証した質保証機関の連合組織	HEQAは政府機関(2001)、CPEは独立機関(2009)	独立機関(2000)	政府機関(2003)
質保証の単位	機関別評価・プログラム別評価	機関別評価	機関別評価・プログラム別評価	機関別評価・プログラム別評価(準備中)	機関別評価・プログラム別評価	機関別評価・プログラム別評価	機関別評価	機関別評価・プログラム別評価	機関別評価・プログラム別評価
受審の義務・任意の別	義務	義務	義務	—	任意であるが、認定されないと不利益扱い	CHEDは義務、他の2組織は任意	HEQAは義務、CPEは任意であるが、留学生受け入れの場合、義務	義務	義務
資格枠組	BNQF	—	IQF	(策定中)	MQF	PQF	—	NQFHET	(策定中)
国際質保証ネットワークへの加盟状況	AQAN, APQN	AQAN, APQN	AQAN, APQN, INQAAHE	教育省高等教育局AQANに登録	AQAN, APQN, INQAAHE	CHEDがAQANに加盟	HEQAはAQANに、CPEはAPQNに加盟	AQAN, APQN, INQAAHE	AQAN, APQN

証に関する体系的研究は不十分であり、本稿がテーマとするベトナム高等教育における外部質保証と内部質保証の現状と課題を明らかにすることは非常に有益である。

I. ベトナム高等教育における外部質保証と内部質保証

1. 外部質保証の枠組

教育訓練省(The Ministry of Education and Training, MOET)が統轄する形で、法律及び政府通知において、アクレディテーションの仕組みが策定され、アクレディテーション機関の認証が行われている(図2参照)。教育訓練省によるコントロールが強く、機関別アクレディテーションやプログラム別アクレディテーションの数値目標を設定している。2020年度を目途に機関別アクレディテーションが一巡する中で、プログラム別アクレディテーションを含めた外部質保証システムの本格的な定着を見通している。

一方、各高等教育機関においては、機関別アクレ

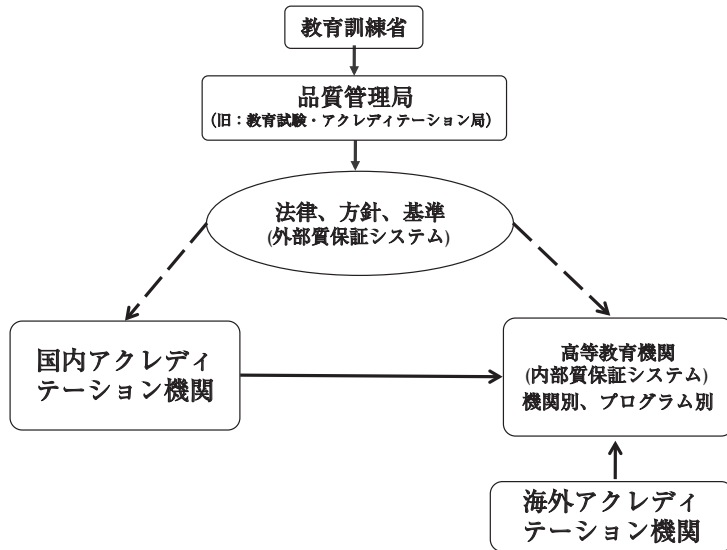
ディテーションとプログラム別アクレディテーションを自由に選択できるようになっている。日本のように、国立・公立・私立の設置形態別に、高等教育機関が受審するアクレディテーション機関が慣習的に特定されているわけではない。また、日本とは違い、機関別アクレディテーション、プログラム別アクレディテーションともに、ベトナム国内のアクレディテーション機関だけでなく、海外のアクレディテーション機関(フランスなど)を選択できることが一つの特徴である。

2. ベトナム国内のアクレディテーション機関

ベトナム国内のアクレディテーション機関は以下の5つであり、ベトナム大学・短期大学協会教育アクレディテーションセンター(CEA-AVU&C)以外の機関は大学キャンパス内に存在するが、当該大学組織に属しない独立組織である。

●ベトナム国家大学教育アクレディテーションセンター(2013年設置)

図2 ベトナム高等教育質保証システムの概要図 (MOET (2016))



VUN Center for Education Accreditation (VNU-CEA)

- ベトナム国家大学ホーチミン校教育アクレディテーションセンター (2013年設置)

VUN-HCM Educational Accreditation Center (VNU-HCM EAC)

- ダナン大学教育アクレディテーションセンター (2015年設置)

Center for Education Accreditation- The University of Danang (CEA-UD)

- ベトナム大学・短期大学協会教育アクレディテーションセンター (2015年設置)

Center for Education Accreditation under Association of Vietnam's Universities and Colleges (CEA-AVU&C)

- ヴィン大学教育アクレディテーションセンター (2017年設置)

Centre for Education Accreditation (CEA-Vinh University)

ベトナム高等教育のアクレディテーションは5年サイクルであり、各高等教育機関は、既述のとおり、機

関別アクレディテーションとプログラム別アクレディテーションを自由に選択できる仕組みとなっているが、概ね、機関別アクレディテーションを受審した後に、プログラム別アクレディテーションを受審する傾向にある。例えば、機関別アクレディテーションでは、施設インフラや組織マネジメントの基準をクリアする必要があり、当該基準をクリアすれば、プログラム別アクレディテーションにおいて適合することとなる。ベトナム国内では、VNU-CEA やVNU-HCM EACがプログラム別アクレディテーションに着手しているが、まさに発展途上の段階にある。CEA-AVU & Cでは、プログラム別アクレディテーションに着手するには至っていない。その一方で、政府は、2020年までに、機関別アクレディテーション100%実施、プログラム別アクレディテーション10%実施を数値目標に掲げている現状がある。

ベトナム国内におけるアクレディテーション実施状況を把握しておく必要があるが、機関別アクレディテーションについては、2018年4月現在、表2のとおりであり、ベトナム高等教育機関の約30%に当たる119の機関が受審し、国内アクレディテーション機関による受審が大半を占めているが、AUN-QA(AUN

表2 機関別アクレディテーション受審状況(2018年4月現在(一部保留分を含む))(INFEQA(2018))

アクレディテーション機関	受審機関数
CEA-AVU&C(国内アクレディテーション機関)	28
CEA-UD(国内アクレディテーション機関)	9
VNU-CEA(国内アクレディテーション機関)	48
VNU-HCM CEA(国内アクレディテーション機関)	28
AUN-QA(ASEANネットワーク)	2
HCERES(High Council for the Evaluation of Research and Higher Education)(フランス)	4

表3 プログラム別アクレディテーション受審状況(2018年4月現在)(INFEQA(2018))

アクレディテーション機関	受審プログラム数
VNU-CEA(国内アクレディテーション機関)	5
VNU-HCM CEA(国内アクレディテーション機関)	2
ABET(Accreditation Board for Engineering and Technology)	2
ACBSP(Accreditation Council for Business Schools and Programs)	6
AMBA(Association of MBAs)	1
AUN-QA(ASEANネットワーク)	65
CTI(Engineering Degree Commission)	16
IACBE(International Accreditation Council for Business Education)	1
FIBAA(Foundation for International Business Administration Accreditation)	5

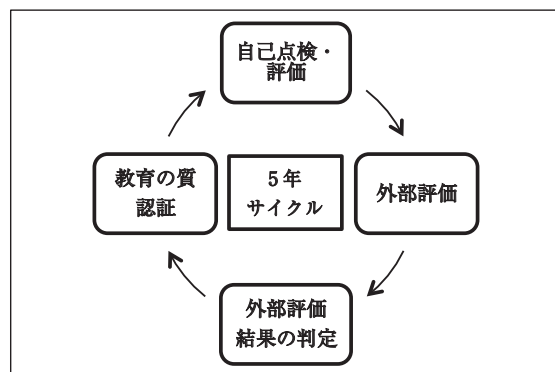
(ASEAN University Network)Quality Assurance)での受審が2機関、HCERES(フランス機関)での受審が4機関である。

また、プログラム別アクレディテーションについては、2018年4月現在、表3のとおりであり、103の教育プログラムがアクレディテーションを受審し、その大半がAUN-QA(ASEANネットワーク)やABETなどの海外専門職認証機関による受審であり、国内アクレディテーション機関によるプログラム別アクレディテーションは、VNU-CEAが5件、VNU-HCN CEAが2件と少ない。

表2・表3を通して、ベトナム高等教育では、アクレディテーション機関によって、機関別・プログラム別ともに、受審機関数に大きな差があるとともに、機関別で多数の受審があってもプログラム別で多いとは限らないという特徴が見られる。

2018年9月の訪問調査では、ベトナム国家大学教育アクレディテーションセンター(VNU-CEA)とベトナム大学・短期大学協会教育アクレディテーションセ

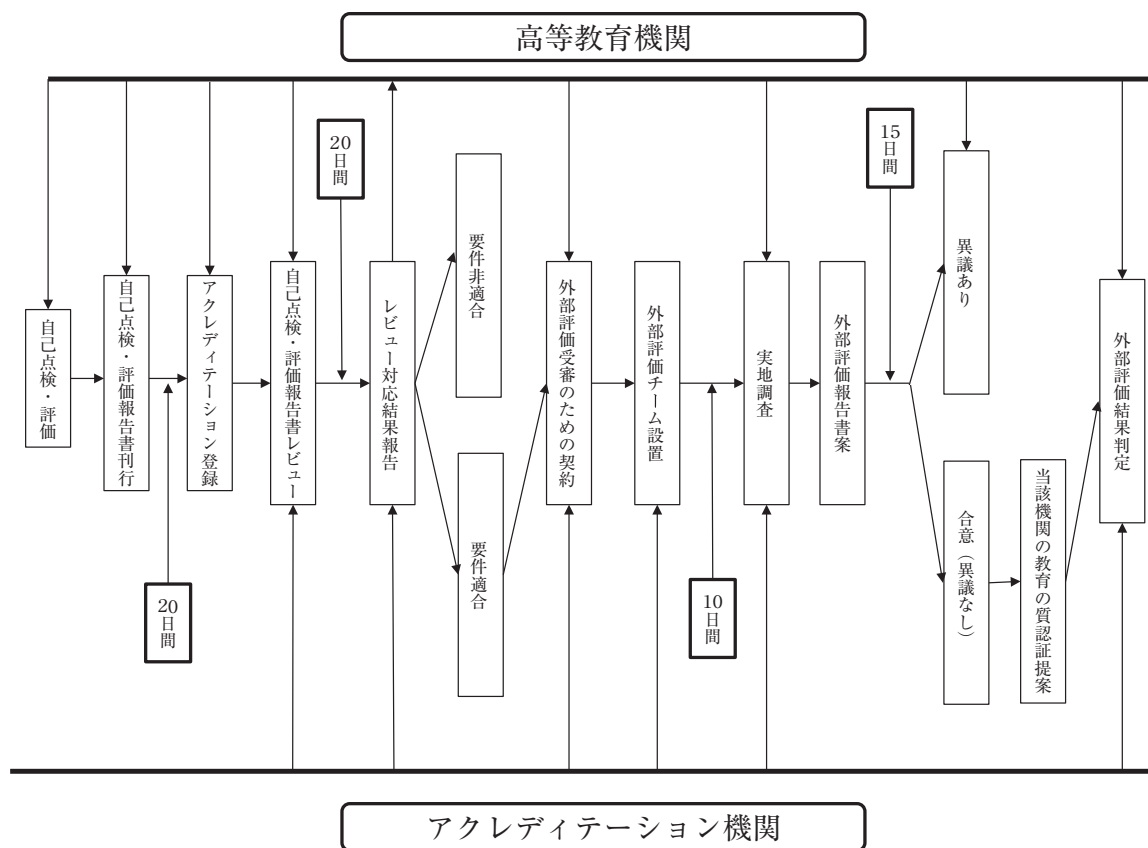
図3 機関別アクレディテーションのプロセス概要図(VNU-CEA(2018))



ンター(CEA-AVU&C)の2機関の幹部職員にインタビュー調査することができたので、その内容を紹介したい。

まず、VNU-CEAは、ディレクターが教育訓練省(MOET)出身者であり、配下の職員はプロパー採用されている。組織運営は独立採算制であるが、政府か

図4 機関別アクレディテーションのプロセスの詳細フローチャート (VNU-CEA (2018))



らの多少の財政支援を受けている。VNU-CEAがまとめる機関別アクレディテーションの5年サイクルの概要図(図3)と詳細なフローチャート(図4)からは、書面調査と実地調査を通じた審査プロセスが明らかとなり、その内容は日本の認証評価制度と大差はない。

ベトナム大学・短期大学協会教育アクレディテーションセンター(CEA-AVU&C)については、12名のフルタイム職員、8名のパートタイム職員で構成されているほか、50名の評価者(アクレディター)を要している。政府とは独立した機関であり、専門職の人材を自ら確保し、財源についてはアクレディテーション受審費用によって賄っている。CEA-AVU&Cによるアクレディテーションを受審した機関は約30程度である。ラーニング・アウトカム(LO)を軸としたアクレディテーション手法や高等教育レベルの資格枠組

(QF)の位置づけ・活用法について問いかけたところ、ラーニング・アウトカムを評価するため、「①少なくとも20名の雇用者とのインタビュー調査、②卒業生に対する調査では対面又は電話でのインタビュー」を行っているとのことであった。また、専門分野別評価のため、社会科学、人文科学、医学・健康、建築、社会工学などの9分野の委員会を設けて審査に当たっているとのことであった。

上記の2つのアクレディテーション機関に共通して、ラーニング・アウトカム(LO)の運用・活用については、ステークホルダーとの関係性や卒業生調査の重要性が増しているが、具体的な運用・活用は発展途上の印象を受けた。ASEAN諸国との質保証に関する情報交換は緊密であるが、日本の高等教育における質保証システムやラーニング・アウトカム(LO)に関す

表4 ベトナム資格枠組 (VQF) (学士レベル (抜粋)) (P.P. THE PRIME MINISTER, THE DEPUTY PRIME MINISTER (2016) に基づき筆者が翻訳)

レベル	学習成果 (学習者が修了時に身に付けておくべき要件)			最低修得 単位数	資格・ 学位
	知識理解	スキル	自律性と責任		
6	①調査フィールドにおいて、高度な理論的かつ実践的な知識を持っていること。 ②社会科学、政治科学、法令に関する基礎知識を持っていること。 ③仕事で求められることに応えられるITに関する知識を持っていること。 ④仕事の特定分野の工程について企画立案、運営、指導助言する知識を持っていること。 ⑤専門的活動に関する管理運営に関する基礎知識を持っていること。	①複雑な問題を解決するために必要とされるスキルを持っていること。 ②リーダーとして、自分自身の仕事を創造し、他人のために役立つスキルを持っていること。 ③議論をする力とともに、想定外かつ変化を伴う状況下において対応する解決策を批判的に適用するスキルを持っていること。 ④活動結果をチーム内の各メンバーの活動状況を評価するスキルを持っていること。 ⑤課題や解決策に関する情報を職場の他者に伝えるスキルを持っていること。具体的には、定型な業務や複雑な業務の作業に関する知識やスキルを伝え、周知すること。 ⑥ベトナムの外国語運用能力枠組参照によるレベル3/6の外国語能力を持っていること。	①変化する文脈の中で、個人またはチームで仕事ができること。チームワークによる成果のために個人としての責任と役割分担での責任を担えること。 ②他者の日常的な業務に対して助言や指導すること。 ③自己研鑽を行い、専門的解決を導きだすとともに、自分自身の視点を失わない力量があること。 ④計画立案し、資源を集め運用しながら評価し、かつ、活動を改善するための方策を見つけること。	120-180 単位	学士

る情報は乏しく、日本との相互交流の要望が感じられた。

3. ベトナム資格枠組 (VQF) の策定と運用の方向性

ベトナム資格枠組 (Vietnamese Qualifications Framework, VQF) は、2016年10月18日付けの政府文書において策定された。ASEAN資格参照枠組 (ASEAN Qualifications Reference Framework, AQR) を参照しながら、ベトナムにおける資格・学位を8つのレベル (レベル1: サーフティフェイクートⅠ、レベル2: サーフティフェイクートⅡ、レベル3: サーフティフェイクートⅢ、レベル4: 中級職業学校資格、レベル5: 準学士、レベル6: 学士、レベル7: 修士、レベル8: 博士) に区分したほか、各レベルにおける学習成果 (ラーニング・アウトカム (LO)) の水準や最低修得単位数を一覧化し、レベル6 (学士) を抜粋したのが表4である。学習者が修了時に身に付けておくべき要件として

「知識理解」「スキル」「自律性と責任」の3領域で規定化し、職業現場でのリーダーシップ、チームワーク、課題解決に必要とされるコンピテンスが具体的に記載されている。

「高等教育資格枠組」について、早田 (2018: 41) が「それが緒についた仕組みであることが影響してか事実の「成果」ではなく期待する目標の枠組みの提示」に留まっているのではないかという現状に言及しつつ、「国別の学生の教育上の仕上がり度の比較が容易となり、国境を越えた学生や研究者、高度職業人等の移動を促進させる効果」を指摘しているが、ベトナム高等教育におけるVQFの現在の位置付けは、まさに同様の状況にある。

政府関係者とのインタビュー調査では、VQFを参照しながら、教育プログラムにおけるラーニング・アウトカムの設定を調整・運営することが期待されているが、教育訓練省 (MOET) と労働傷病兵社会省 (Min-

表5 ベトナム国内の高等教育機関における自己点検・評価実施状況 (MOET (2016))

種別	機関数	自己点検・評価実施状況	
		実施機関数	実施率 (%)
大学	219	210	95.89
短期大学	217	210	96.77
職業訓練学校	313	159	50.79
計	749	579	77.30

表6 質保証ユニットによる活動内容一覧 (N=156) (MOET (2016))

質保証に関する活動	関与あり (%)	関与なし (%)
1. 内部質保証のためのガイドラインづくり	90.3	9.7
2. データ集約拠点の構築と管理運営	67.5	32.5
3. 試験運営のための連携	78.2	20.6
4. 機関別自己点検・評価の実施	89.3	10.7
5. プログラム別自己点検・評価の実施	67.6	32.4
6. 教育活動の評価	86.4	13.6
7. 訓練支援活動の評価	62.9	37.1
8. 研究活動の評価	32.1	54.7
9. 組織のリーダーや管理職の評価	34.1	65.9
10. 学生からのフィードバックの収集	91.9	9.1
11. 卒業生からのフィードバックの収集	71.7	28.3
12. 雇用者からのフィードバックの収集	61.4	38.6
13. 資格や証明の管理運営	25.1	74.6
14. 監視やモニタリングの実施	63.6	36.4
15. 質保証における国際連携活動の実施	26.1	58.2

istry of Labor, Invalid and Social Affairs, MOLISA) が協働して、VQFを運用するための詳細な実行プランを検討する必要がある、その準備に2025年くらいまで時間を要するであろうとのコメントがあった。その理由として、ASEAN資格参照枠組(AQRF)に則りながらVQFをうまく運用させるには、幾つかのパイロットスタディを通して、学生移動を保証するための調整が必要とのことであった。

II. ベトナム高等教育機関の内部質保証

1. 自己点検・評価等の概観

各高等教育機関における内部質保証の仕組みは整備され、自己点検・評価を行うことが習慣化している。各高等教育機関の規模や組織文化に沿って、執行部と

質保証ユニット(内部質保証を運営する組織(例: 評価センターなど))が各学部・学科等との連絡調整により、内部質保証に取り組み、かつ、外部質保証の対応を行っている。表5に拠れば、大学・短期大学では、95%以上の機関が自己点検・評価を行っている。156の質保証ユニットを対象とした具体的な活動内容調査では、表6のとおり、内部質保証のためのガイドラインづくりのほか、IRに類するデータ管理や教育研究評価、学生・卒業生・雇用者からのフィードバックの収集に努めている様子が窺える。

以上のようなベトナム高等教育機関全体の内部質保証の状況を概観した上で、次節では、今回の訪問調査対象とした個別大学における内部質保証体制や外部質保証対応についてまとめてみたい。

2. ハノイ工科大学

ハノイ工科大学は、理工系の大学として、国際的なプレゼンスを重視し、機関別アクレディテーションでは、海外のアクレディテーション機関であるHCERES（フランス）を受審した大学の一つである。評価担当の副学長の直下にある質保証センターにおいて、内部質保証を担当しており、同センターには3つのグループ（(1) QAグループ、(2) ランキング対応グループ（①The QS（QS（Quacquarelli Symonds）世界大学ランキング）、②U-MultiRank（欧州による大学ランキング）、③SCImago（SCImagoジャーナルランク）、④URAP（University Ranking by Academic Performance）、⑤Webometrics（Webometrics Ranking of World Universities））(3) FD・教授法グループ）があり、海外ランキング対応を重視している点が特徴である。センタースタッフは10名程度で、そのうち、2-3名がアカデミックスタッフである。5年サイクルの外部評価に対応するため、1～2年の歳月をかけて学内会議での検討を通して自己点検・評価を進めている。

ハノイ工科大学では、2008年にISO9001の認証を受けたほか、機関別アクレディテーションでは、2017年3月にフランス機関（HCERES）による外部評価を受審しているが、フランスのアクレディテーション機関を選んだ理由としては、大学の方針として国際レベルの認証を重視したためである。今後のプログラム別アクレディテーションについては、AUN-QAの受審を予定している。

3. ベトナム国家大学ハノイ校工科大学

ベトナム国家大学ハノイ校工科大学は、4学部、学生数3,500名程度、教員数60名程度からなる大学である。副学長の直下にある質保証センターには、兼務教員とともに、2名のフルタイム職員が配置され、機関別アクレディテーションのための報告書作成やプログラム別アクレディテーションにおける学部教員との連絡調整の対応を行っている。学部のコンタクトパーソンは、質保証担当の副学部長である。

質保証センターと学部との連携については、障害が

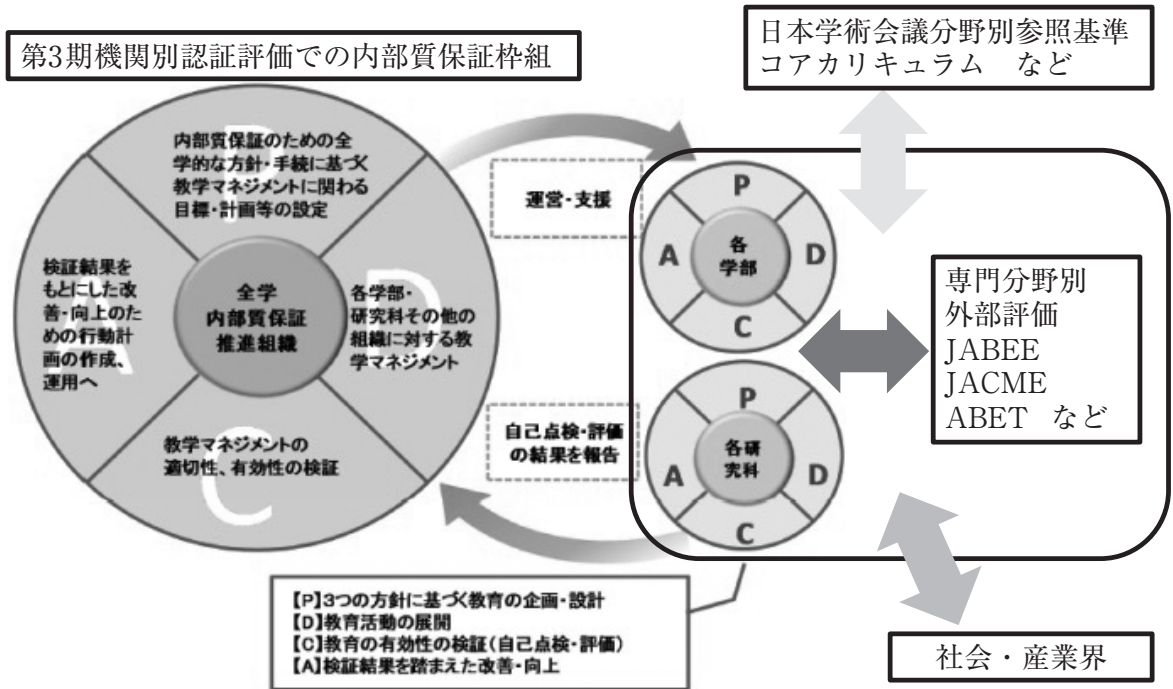
生じることもあるが、概ね協力的に行われているとのことであった。外部評価については、2016年に機関別アクレディテーションを受審（VNU-HCM）したほか、プログラム別アクレディテーションの受審も進んでおり、AUN-QAにより3プログラムが受審済みであり、1プログラムが受審中である。大学全体として8プログラム存在するが、そのうち、4プログラムをAUN-QA、残りの4プログラムをVNU-CEAで受審する予定である。このほか、2008年にISO9001認証を受けている。

外部質保証機関による評価を通して、ステークホルダーを通じたラーニング・アウトカムが明らかになり、大学にとって有意義である。教育プログラム評価を受審後も、改善等を洗い出し、教育プログラムの改善充実が図られる。大学の内部質保証においては、CDIO（Conceive Design Implement Operate）サイクルを通して、教員によるティーチングの改善充実を図っている。また、評価活動において、スタッフの資質向上のためのトレーニング、センター教員と一般教員の連携の充実などが益々重要となる。同大学では、学部が非常に協力的であり、現状において友好関係が構築できている。

III. まとめ

ベトナム高等教育の外部質保証において、機関別アクレディテーションが全体的に進み、プログラム別アクレディテーションが徐々に導入されつつある状況にある。このような外部質保証の浸透に対応するため、各高等教育機関における内部質保証体制が整備され、機関レベルやプログラムレベルでのPDCAサイクルが働いていることが今回の訪問調査を通して間近に理解できた。また、ASEAN資格参照枠組（AQR）を参照したベトナム資格枠組（VQF）が策定され、資格・学位の各レベルにおける学習成果（LO）が明確化されたことに伴い、学習成果を重視した質保証が徐々に進みつつある。一方、資格枠組を通じた国境を越えた学習成果の質保証については、その緒に就いたばかりであり、今後に向けた各国レベルとASEANネットワークレベルでの課題解決が必要な段階にある。

図5 日本における教育プログラム単位の外部質保証と内部質保証を取り巻く各種要素



(大学基準協会『大学評価ハンドブック』(2019:7)に基づき筆者が加筆)

一方、日本の高等教育における外部質保証と内部質保証を取り巻く環境は、機関別評価からプログラム別評価に移行する中で、認証評価機関による外部評価、専門分野ごとの専門職団体による外部評価などが輻輳し、対応が複雑化している(図5参照)。そのような環境の中では、二つの構造的課題を抱えていることも見逃せない。一つは、3ポリシーに基づく内部質保証において、3ポリシーの策定単位が「少なくない大学において、3ポリシーは複数の学位プログラムを内包する学部・学科や全学のレベルで策定されているのが現状」(深堀(2019))という曖昧な実態があるため、学位プログラムレベルの内部質保証に堪えられるのか、という課題である。もう一つは、日本学術会議が主導する分野別参照基準が有効に活用されていない点である。英国では、Subject Benchmark Statementsがカリキュラム策定の際に参照される仕組みとなっているが、日本では、分野別参照基準の策定作業自体が関連する学協会内の議論に終始し、社会的関心の的とは決

してならず、未だに、その認知度や有効活用度は低い状況にある。

以上のような観点から、ベトナム高等教育の質保証に関する研究の日本の価値は高く、特に、教育プログラム評価が未成熟な日本にとって、ベトナムの動向調査は一つの参考材料になると考えたい。また、ベトナムなどのASEAN諸国における学習成果(LO)ベースの資格枠組については、日本における学士力や分野別参照基準と照らし合わせながら、そのあり方を見つめることによって多くの知見が得られるであろう。さらには、ベトナムは、日本との経済交流がASEAN諸国の中でも比較的盛んな国であることから、近年高まりつつある学生交流だけでなく、高等教育研究者やアクレディテーション機関同士の相互交流の活性化が必要であろう。本稿を契機に、ベトナムを対象とした高等教育質保証研究の発展に尽力していきたい。

【注】

1) 2018年9月5日に訪問。インタビュー対応者は以下の通り。

Viet Nam Education Quality Management Agency (VQA), The Ministry of Education and Training, Dr. Le My Phong, Head, Education Accreditation Division, MA. Truong Thi To Nga- Official

2) 2018年9月5日に訪問。インタビュー対応者は以下の通り。

Centre for Education Accreditation (CEA-AVU&C), Prof. Dr. Nguyen Phuong Nga, Director

3) 2018年9月6日に訪問。インタビュー対応者は以下の通り。

VNU - Centre for Education Accreditation (VNU-CEA), Dr. Tran Huu Luong- Head of Division of Cooperation and Development, MA. Bui Thi Thu Thuy Deputy Head

4) 2018年9月5日に訪問。インタビュー対応者は以下の通り。

Hanoi University of Science and Technology, Center for Quality Assurance, Dr. LE Huy Tung, Director, Center for Quality Assurance, Dr. Nguyen Hoang Viet, Vice Director

5) 2018年9月6日に訪問。インタビュー対応者は以下の通り。

VNU University of Engineering and Technology (VNU-UET), Dr. Bui Ngoc Thang, Vice Director of Quality assurance Center

6) 2018年9月6日に訪問。インタビュー対応者は以下の通り。

VNU Institute for Education Quality Assurance (INFEQA), Dr. Nghiem Xuan Huy, Director, Dr. Bui Vu Anh, Vice Director

【参考文献】

関口洋平『現代ベトナム高等教育の構造 ～国家の管理と党の領導～』東信堂、2017年

大学改革支援・学位授与機構「ベトナム高等教育の質保証（ブリーフィング資料）」2017年

大学基準協会『大学評価ハンドブック』2019年

大学基準協会『教育プログラム評価ハンドブック』2019年

近田政博『近代ベトナム高等教育の政策史』多賀出版、2005年

日本学生支援機構「平成20年度～平成29年度協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果」2010年～2019年

早田幸政「ASEANにおけるラーニング・アウトカムの測定・評価を軸とする高等教育質保証体制構築に向けたチャレンジに関する研究」中央大学教育学研究会『教育学論集』第59集、2017年、67-96頁

早田幸政「ASEAN地域における高等教育質保証連携と「資格枠組み(QF)」の構築・運用の現段階—今、日本の高等教育質保証に何が求められているか—」『大学評価研究』第17号、2018年、39-59頁

深堀聰子「学位プログラムを中心とした大学制度に向けて—制度設計上の課題—」『IDE現代の高等教育』Vol.609、2019年、47-51頁

Dr Bui Vu Anh, HE QUALITY ASSURANCE NETWORK IN VIETNAM, Institute for Education Quality Assurance (INFEQA), 2018

P.P. THE PRIME MINISTER, THE DEPUTY PRIME MINISTER, DESCRIPTION OF VIETNAMESE QUALIFICATIONS FRAMEWORK (Enclosed with the Decision No. 1982/QĐ-TTg dated October 18, 2016 by the Prime Minister), 2016

Tran Huu Luong, VIETNAM'S HIGHER EDUCATION QUALITY ASSURANCE AND ACCREDITATION, ASEAN Young Quality Assurance Officers Network (AYQON) Roundtable Meeting, 2016
VNU-CEA, PROCESS OF INSTITUTION ACCREDITATION and Steps of Institution accreditation process, 2018

【付記】本研究は、科学研究費助成事業(基盤研究(C))「アウトカム評価を軸とするASEANの高等教育質保証と日中韓への影響の実証研究」(代表者：中央大学 早田幸政)の研究成果の一部である。

A Study of External and Internal Quality Assurance in Vietnamese Higher Education — Suggestions from ASEAN Quality Assurance Network in Higher Education —

※ Toru HAYASHI

[Abstract]

The external quality assurance system has been arranged focusing on learning outcomes assessment in the ASEAN area. Each country makes effort to collaborate the establishment of quality assurance system for transferring degrees and credits around the ASEAN area. We have been interested in the practical operation of ASEAN Quality Assurance Framework, AQRF and ASEAN Qualifications Reference Framework, AQRF.

This study is a research paper based on making interviews with Vietnamese government, accreditation centers and higher education institutions in September, 2018. The purpose of this study is to investigate the below three topics, (1) how quality assurance system is established and operated in Vietnamese higher education, (2) how Vietnamese higher education make a commitment to ASEAN Quality Assurance Network, (3) how Vietnamese higher education institutions deal with accreditation.

Finally, this study clarifies the current situations and topics around the Vietnamese external and internal quality assurance system, and suggests some viewpoints and ideas to Japanese quality assurance system.

※ Associate Professor, Office for Teaching and Learning Management, Yamaguchi University